

2013年2月18日

デンソーセールス、遠隔見守りシステム“ZONE D”を販売

『特定エリアの見守り』に加え、来客認識などの『業務支援』が1台でできる業界初のシステム

株式会社デンソーセールス（本社：東京都渋谷区、社長：藤井 俊彰）は自動車部品で培った安全技術を元に、レーザーセンサーを活用した見守りシステム“ZONE D”（ゾーン・ディー）の販売を3月15日に開始します。

当システムは、店舗や工場等の『特定エリアの見守り』に加え、来客認識による店舗スタッフへの顧客情報表示などの『業務支援』としても活用でき、業界初の1台2役の利便性の高いサービスを提供することができます。

更に、このシステムは業界初の機能として、特定のエリアに侵入した人や物体をセンサが検知してカメラが自動で追尾・ズームする機能や、管理者がスマートフォンやタブレット端末を使用してカメラを遠隔操作したり、侵入者に音声で警告できる機能を採用しています。

1. 斬新な機能

リアルタイムで“現場確認”と“音声警告”

- 業界初のレーザーセンサー内蔵のカメラ自動追尾機能により、見守りエリアに侵入した人や物体の動きをセンサが検知して、カメラが自動的に追尾・ズームを行い、撮影画像の識別力の大幅なアップを実現しました。
- 同時に、携帯端末を使用して、遠隔からカメラの操作・声掛けによる警告を行うことができます。また、携帯端末では見守りエリアの音をリアルタイムで聞くことができます。

1台2役、“顧客サービス向上”+“営業時間外の防犯強化”を実現

- 営業時間中は店舗入口で来店車両を認識して来客情報を受付端末に表示する等、スムーズな来客対応が可能です。
- 夜間・休日等は見守りエリアへの侵入を検知し、即座にライブ画像などを管理者の携帯端末にメールで通知します。

2. 商品の特徴

レーザーセンサー、ネットワークカメラ、ネットワークレコーダーのシステム構成から実現する多様な機能

- レーザーレーダを使用するレーザーセンサーは、独自のフィルタリング技術によりノイズを除去し、屋外や暗闇でも人や物体の位置と動きを高精度に検知します。
- 専用ソフトにより1つのセンサで100箇所以上の見守りエリアを自由に設定でき、広範囲な監視ができます。
- スマートフォンやタブレット等の端末から、16面マルチビューア機能、手動でカメラを上下/左右/ズーム操作するカメラ遠隔操作機能、侵入物の位置を表示するマッピング機能、音声を出力する音声機能、照明などの電気機器をON/OFFする遠隔制御機能、録画再生機能を操作することができます。

3. 販売

基本システム100万円、自動車販売会社に加え公共機関まで幅広く販売対象

- レーザーセンサー、カメラ、ネットワークレコーダーから構成される基本システムで100万円から販売します。
- 取引実績を有する自動車販売会社に加え、携帯電話ショップ、鉄道、水道局や変電所といった公共インフラを担う機関に幅広く販売していきます。
- 今後は随時、各地域で展示会を開催する予定です。

以上

本件に関するお問い合わせ

株式会社デンソーセールス 経営企画部
経営企画室 糸岡 TEL 03-6367-9663